教科書を知る 7 つのキーワード

今日的な教育課題への対応や生徒の資質・能力の育成のため、内容や構成を工夫しました。

1 「作家の手法」

生徒の発想や構想のヒントになるよう、作家が作品をどのように発想し、どうつくりあげていくのかを詳しく紹介しました。

作家の言葉

発想の方法や制作の際に大切にしていることについて、作家自身の言葉で説明しています。

制作過程を詳しく紹介

普段は目にすることのできない制作の裏側を、写真や文章で丁寧に解説しています。

作家の手法 一覧

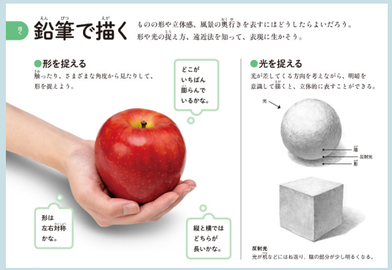
- 画家 **池田 学**（P.18〜19）
- 美術家 **塩田千春**（P.39）
- デザイナー **皆川 明**（P.57）
- デザイナー **柴田文江**（P.61）
- クリエイティブディレクター **川村真司**（P.75）

P.61「**作家の手法 柴田文江**」

2 中学校美術科との接続

中学校で学んだ内容を振り返りながら、さらに学びを深められるように配慮し、編集しました。

中学校

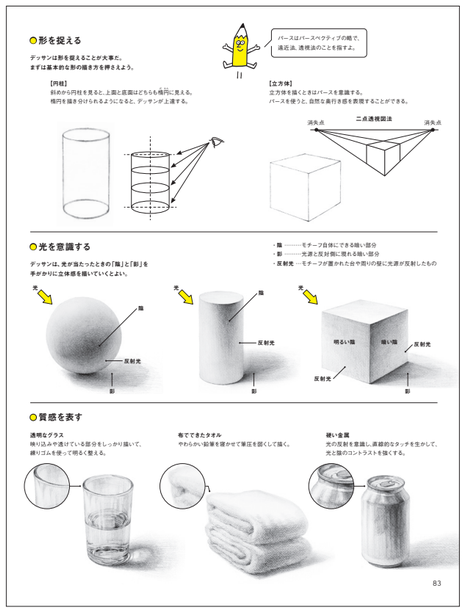


令和7年度版『美術1 資料』（光村図書）

P.4「**鉛筆で描く**」

形や光の捉え方について、美術に苦手意識のある中学生にもわかるよう、簡潔に解説しています。

高等学校『美術1』

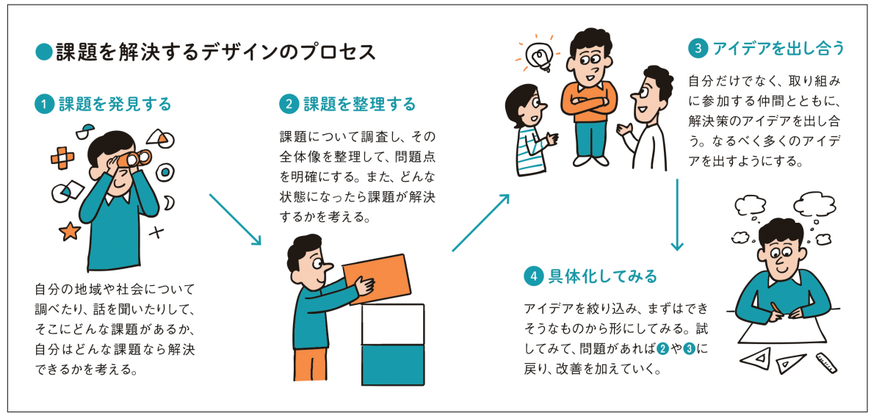


P.83「**鉛筆BOOK**」

中学校で学習した内容を掲載しながら、パースへの意識や質感の表し方を新たに扱うなど、鉛筆を使った描き方についてより詳しく解説しました。

3 課題解決

社会の抱える課題を生徒が主体的に調査し、解決方法を考える題材を設けました。「総合的な探求の時間」をはじめ、美術以外の授業にもつながる内容です。



P.62「**社会の仕組みをデザインする**」

4 多様性

多様性に配慮して掲載作品を選定し、さまざまな国や地域の作家を掲載しました。また、アール・ブリュットを扱う題材を新しく設けました。

P.20「**アール・ブリュットの世界**」に掲載したアロイーズ・コルバスの作品。

5 ポップカルチャー

巻末に、漫画の制作過程や技法を紹介する資料を設けました。また「アニメーションをつくる」（P.72〜73）の題材では、バスケットボール部で活躍する高校生たちを描いた映画「THE FIRST SLAM DUNK」を1ページで紹介しました。

P.106〜107「**漫画表現の技法**」では、美術の道をめざす高校生が主人公の漫画『ブルーピリオド』の制作過程を紹介しています。

6 著作権や肖像権

作品には著作権があることや、写真や映像を撮るときは著作権や肖像権に十分に配慮する必要があることを、注意喚起のマークとともに示しました。

著作権を尊重しよう

授業内の使用などを除き、写真や映像、音楽などの著作物は、著作権者の許可なく使用できないよう、法律で保護されている。ルールを守って作品を制作、公開しよう。

P.110「**映像を制作する**」

7 使いやすい工夫

どの作家がどのページに載っているのかがすぐにわかるよう、人名索引を新設しました。作品を掲載した作家だけでなく、文章で触れた作家まで網羅しています。

人名索引

あ
アアルト，アルヴァ …… 64
アナツイ，エル …… 38
アレン，ウィリアム・ヴァン …… 65
アン・ジュン …… 113
アングル，ドミニク …… 42
安藤忠雄（あんどうただお） …… 64
李 度宗（イ・ドゥジョン） …… 107

P.80「**人名索引**」